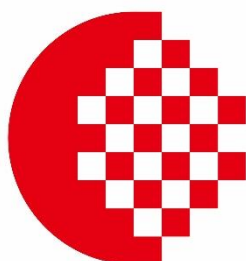


令和4年度 新進芸術家海外研修制度 (長期研修)

Program of Overseas Study for Upcoming Artists

募集案内



文化庁

Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

応募の際は、書類に不備のないよう十分に確認してください。
書類の状態も審査の対象となります。

提出期限：令和3年8月10日（火）消印有効

提出書類様式については、下記ホームページでダウンロードできます。
(本事業ホームページ) <https://www.zaikenbunka.go.jp/>
(文化庁ホームページ) <https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/>

令和3年6月
文 化 庁

本事業は、令和4年度予算の成立を前提として募集を行うものであり、今後の概算要求や予算編成、国会審議等の状況によっては、本募集案内の内容に変更が生じる場合がありますので、予めご了承の上、応募してください。

目 次

第1章 本制度の目的	1
第2章 本制度の対象者	1
第3章 本制度の支給対象金額	2
第4章 応募に関しての留意事項	4
第5章 応募書類	6
第6章 応募書類の提出方法	7
第7章 応募書類記入上の注意事項	9
第8章 選考スケジュール	15
第9章 個人情報の取り扱い	16
別紙1 新進芸術家海外研修制度 応募書類提出先団体一覧	
別紙2 研修期間早見表	

●応募書類様式一式（別途エクセルファイル）

令和4年度 長期研修申込書（様式）

申込書A（様式①），申込書B（様式②），経歴書（様式③），研修計画書（様式④）
受入承諾書説明書（様式⑤），推薦書（様式⑥）
DVD資料内容一覧（別添①），作品クリアファイル目次様式（別添②）

【問い合わせ先・事務局運営会社】

「新進芸術家海外研修制度事業」事務局

株式会社 日本旅行 グローバルソリューション営業本部 公務法人営業部内

担当：桐田・高山

E-mail: applyzaiken_zaiken@nta.co.jp（書類応募先とは異なります。）

TEL: 03-5402-6474（営業時間：平日9:45～17:45）

第1章 本制度の目的

本制度は、我が国の新進の芸術家、アートマネジメント担当者、学芸員及び評論家等が、その専門分野について海外において実践的な研修に専念できるように、渡航費及び滞在費を支援することにより、将来の我が国の文化芸術振興を担い、国際的に活躍する人材を育成することを目的としています。

第2章 本制度の対象者

美術、音楽、舞踊、演劇、舞台美術等、映画、メディア芸術の各分野における新進の芸術家、技術者、プロデューサー、評論家等で、以下の(1)から(7)の条件を満たす者とします。

研修の開始日は原則として、令和4年9月1日から令和5年3月31日の間に日本を出発する日とし、終了日は日本到着日となります。(令和4年4月～8月の期間に研修を開始することはできません)。

- (1) 日本国籍又は日本の永住資格を有すること。
- (2) 下記の年齢条件を満たすこと。(令和3年9月1日現在)

1年研修 (200～350日)	美術分野	18歳以上50歳未満
	その他の分野	18歳以上45歳未満
2年研修 (351～700日)	美術分野	18歳以上35歳未満
	その他の分野	18歳以上30歳未満
3年研修 (701～1050日)	美術分野	18歳以上32歳未満
	その他の分野	18歳以上27歳未満
特別研修 (41～80日)	全分野	18歳以上
高校生研修 (200～350日)	音楽・舞踊分野	15歳以上18歳未満

※研修開始・終了後、各研修区分の日数下限を満たさなかった場合、支給済みの渡航費、支度料、滞在費等を全額返納いただくことがあります。

- (3) 専門とする分野で芸術活動の実績があること。
- (4) 外国での研修に堪えうる語学力を有すること。
- (5) 研修先の施設の受入れ保証(受入先が個人である場合を含む。)があること。
- (6) 保護者の同意があること。(高校生研修のみ。)
- (7) 研修開始時には、義務教育を終了していること。(高校生研修のみ。)

【本制度の研修を受けたことのある方について】

本制度の研修実績	応募できる研修区分
過去に1年研修、2年研修、3年研修を受けた方	特別研修または短期研修に応募が可能
過去に特別研修を受けた方	1年研修、2年研修、3年研修、短期研修のいずれかに応募が可能
過去に短期研修を受けた方	1年研修、2年研修、3年研修、特別研修のいずれかに応募が可能
過去に高校生研修で研修された方	高校生研修以外の研修に応募が可能

※短期研修については別途募集。

○対象となる研修分野等

分野	専門分野
美術	日本画，絵画，版画，彫刻，工芸，現代美術，写真，デザイン，建築，版画刷師， 鋳造，保存・修復，アートマネジメント，美術教育，評論等
音楽	器楽，声楽，指揮，作曲，オペラ演出，コレペティトール，ジャズ・ポピュラー演 奏・作曲，アートマネジメント(芸術監督，プロデューサー，企画制作)，評論等
舞踊	バレエ，現代舞踊，舞踏，日本舞踊，民族舞踊，振付，アートマネジメント(芸術 監督，プロデューサー，企画制作)，舞踊教育等，評論等
演劇	演出，俳優，劇作，人形劇，パントマイム，演芸，大道芸，曲芸，サーカス，アート マネジメント(芸術監督，プロデューサー，企画制作)，評論等
舞台美術等	舞台美術，照明，音響，小道具，舞台監督等
映画	監督，俳優，シナリオ作家，プロデューサー，撮影，照明，美術，編集，録音，スク リプター，ポストプロダクション，メイク，衣裳，映像教育，サウンドクリエイト， 評論等
メディア芸術	映像，メディアアート，ゲーム，アニメーション，マンガ，アートマネジメント， 評論等

第3章 本制度の支給対象金額

本制度では研修員に下記の支給を行います。

(1) 渡航費

往復の航空賃（エコノミークラスの実費）

※燃油サーチャージ及び空港使用料，その他費用は支給されません。

往路 研修開始直前の居住地最寄りの国際空港から研修開始地最寄りの国際空港までの最短経路。

復路 研修終了地最寄りの国際空港から研修終了帰国後の居住地最寄りの国際空港までの最短経路。
（往路，復路ともに，日本国内の移動に係る費用，研修地と研修地最寄りの国際空港の移動に係る
費用，大きな楽器等の輸送費（航空賃含む）はいずれも対象外となります。）

※研修開始時に，研修国に居住している場合は，往路の航空賃は支給しません。また，研修開始時
に海外に居住しており，研修先が居住地国と異なる場合は，その状況によって支給します。

(2) 支度料 25,000円（出国時に1回のみ支払）

※ 研修国にすでに居住（研修開始前に一時的に帰国している場合も同様）している場合は，支度
料は支給されません。

(3) 滞在費 日当及び宿泊料 ※次ページ滞在費一覧参照

- ・ 研修地は1か所を原則とします。特別の事情により，研修地が2か所以上になる場合は，研修地
間の移動旅費は支給しません。

- ・ 滞在費は研修地の所在地を根拠として計算した額を支給します。居住地ではありません。
- ・ 滞在費の支給後に、日程変更等で研修期間を短縮した場合、該当短縮期間に係る支給済みの滞在費は返納していただきます。
- ・ 滞在費の支給対象期間は、原則「研修開始日」（日本出国日）から「研修終了日」（日本到着日）までの期間になります。但し、出国日から実際の研修開始日までの期間、又は実際の研修終了日から帰国日までの日数や状況によっては、当該期間の滞在費の一部は支給できない場合があります。現地滞在者の場合は、「現地研修開始日」から「現地研修終了日」までの期間となります。
- ・ 研修国と居住国の移動に際し、機中泊が発生する場合、該当日は出発地の日当のみの支給となります。（日本出発の場合は、丙地方区分を適用）
- ・ 日本帰着日は、丙地方の日当のみ支給します。

【滞在費】（1日当たりの金額）

連続滞在期間	区分	指定都市	甲地方	乙地方	丙地方
出発日～31日目まで	日当	3,700円	3,100円	2,500円	2,200円
	宿泊料	11,500円	9,600円	7,700円	6,900円
	計	15,200円	12,700円	10,200円	9,100円
同一地域で 32日目～61日目	日当	3,330円	2,790円	2,250円	1,980円
	宿泊料	10,350円	8,640円	6,930円	6,210円
	計	13,680円	11,430円	9,180円	8,190円
同一地域で 62日目～	日当	2,960円	2,480円	2,000円	1,760円
	宿泊料	9,200円	7,680円	6,160円	5,520円
	計	12,160円	10,160円	8,160円	7,280円

地域区分	都市名等
指定都市	シンガポール、ロサンゼルス、ニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントン、ジュネーブ、ロンドン、モスクワ、パリ、アブダビ、ジッダ、クウェート市、リヤド、アビジャン
甲地方	指定都市、乙地方、丙地方以外の下記の地域 北アメリカ大陸、グリーンランド、ハワイ諸島、バミューダ諸島、グアム、ヨーロッパ大陸、アイスランド、アイルランド、英国、マルタ、キプロス、アゾレス諸島、マディラ諸島、カナリア諸島、アラビア半島、アフガニスタン、イスラエル、イラク、イラン、クウェート（クウェート市を除く）、ヨルダン、シリア、トルコ、レバノン
乙地方	インドシナ半島（タイ、ミャンマー及びマレーシアを含む）、インドネシア、大韓民国、東ティモール、フィリピン、ボルネオ、香港、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、ジョージア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア（モスクワを除く）、オーストラリア大陸、ニュージーランド、ポリネシア海域、ミクロネシア海域、メラネシア海域（ハワイ諸島及びグアムを除く）
丙地方	指定都市、甲地方、乙地方以外の下記の地域 アジア大陸、メキシコ以南の北米大陸、南アメリカ大陸、西インド諸島、イースター諸島、アフリカ大陸、マダガスカル、マスカレーニュ諸島、セーシェル諸島、南極大陸

※外務省の「海外安全ホームページ」上の「レベル2：不要不急の渡航は止めてください」以上に該当する地域での研修は推奨しません。

第4章 応募に関する留意事項

(1) 査証（ビザ）について

外国に滞在し、研修する際には、滞在期間に応じたビザ等（ビザ、滞在許可証またはそれに準じるもの）が必要となる場合があります。文化庁では本研修制度に採択された方に対してビザ等取得等のための英文証明書を発行しますが、ビザ等の情報収集、手続きは研修員各自で行っていただくこととなります。応募の際には、あらかじめ、自身の研修内容でビザ等の取得手続きが可能であることを確認してください。

渡航先の国によっては、ビザ等取得に数ヶ月を要する場合があります。また、研修の受入れ先が個人の場合には、ビザが取得できない場合があります。必要書類などについても、渡航先の国の在日大使館に問い合わせる等の情報収集を行ってください。取得要件が急遽変更される場合もありますので、応募時、採択後も、最新の情報を把握するように心がけてください。

また、ビザ等の取得が確認できない場合、滞在費の支給停止や研修員としての決定を取り消すことがあります。

(2) 他の公募事業との併願について

他の機関が実施する留学制度に応募することは差し支えありませんが、渡航費、滞在費、支度料を重複して受給することはできません。他の制度と併願する場合は、申込書B（様式②）の所定の欄にその内容を記入してください。また、本制度応募後に、新たに他の留学制度に応募した場合は追って事務局まで御連絡ください。

例：

○他機関の助成・奨学金が渡航費、滞在費の場合 → 本制度の助成を受けることはできません。

○他機関の助成・奨学金が作品製作費等であり、本制度の給付対象とは異なる場合

→ 本制度の助成を受けることができます。

（確認のための書類提出要）

※他機関の助成・奨学金が用途を限定していない場合は、原則、本制度の助成を受けることはできません。

(3) 報告書について

研修期間中は、定期的に研修状況報告書、研修終了後は、研修結果報告書を事務局に提出していただきます。（特別研修は研修結果報告書のみ）。提出いただいた報告書は、文化庁や本制度の公式ホームページ等を通じて、公表することを想定しております。そのため、ウェブページ等での公表に係る報告書の著作権の使用についてあらかじめ御了承ください。なお、報告書を提出いただけない場合には、研修の事実が確認できないため、滞在費の支給停止や研修員の決定を取り消す場合があります。

(4) 研修員の公表について

選考の結果、研修員に決定された方については、氏名、専門分野、研修予定国・予定都市等の情報を文化庁のホームページ等を通じて公表させていただきますのであらかじめ御了承ください。また、研修員の方の保護（邦人保護）の観点から、上記の情報と研修地における連絡先を併せて、研修国の在外公館へ情報提供いたしますので、あらかじめ御了承ください。

(5) 一時帰国について

研修期間中は、研修に専念する義務があるため、原則として一時帰国は認められません。無断で帰国された場合には、研修員の決定を取り消すことがあります。（滞在費等の返還を含む。）

<一時帰国を特別に認める場合>

- ① 研修員自身が研修を継続出来ない程の健康上の理由、家族の冠婚葬祭等
- ② 研修員の研修内容に深く関連し、研修員本人のキャリアアップにつながるような公演や展覧会に参加する場合であって、文化庁が承認した場合（自らが企画・出演する公演、個展などを理由とする一時帰国は認められません）
- ③ その他、ビザなどの関係上、滞在を継続するために一時帰国をせざるを得ない場合

(注視点)

- ①②③いずれの場合でも、必ず余裕をもって事前に事務局へ連絡してください。一時帰国の必要性を踏まえ、承認の可否を判断します。
- 一時帰国に係る往復の航空賃は自己負担になります。また、その期間に係る滞在費は支給対象外となるため、返納していただきます。

(6) 研修中における研修国以外への移動・滞在について

研修期間中は、研修国において研修に従事していただくことが原則ですが、研修の一環として、研修国以外への移動・滞在を行う場合は、必ず余裕をもって事前に事務局へ連絡してください。国外研修の必要性を踏まえ、承認の可否を判断します。なお、移動に係る航空賃や移動費等は自己負担になります。

(7) 研修中の安全確保・安否確認について

近年、国内外において大規模の事故や災害等が発生していることから、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めていただくとともに、緊急事態に備え、事前に連絡先を登録していただきます。

(8) 研修中の労働について

研修員は、新進芸術家海外研修制度が国民の貴重な税金を原資とすることに留意し、研修期間中は研修に専念する義務があります。

そのため、原則として研修期間中は、仕事に就き、労働の対価として給与、報酬を得ることはできません。

ただし、研修内容に深く関連し、研修員本人のキャリアアップにつながるような公演や展覧会に参加するなど、当該活動が研修の一部として認められる場合においては、この限りではありません。

(9) その他

大幅な研修日程の変更や研修内容の変更を行った場合には、研修員の決定を取り消すこともありますので御留意ください。

<ウイルス等の世界的流行による対応について>

ウイルス性疾患は長期化するおそれがあり、それを見越した、実現可能な研修計画を用意してください。

第5章 応募書類

応募書類は以下の一覧のとおりです。各様式については、文化庁ホームページ、本制度公式ホームページからダウンロードしてください。

文化庁ホームページ： <https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/>

公式ホームページ： <https://www.zaikenbunka.go.jp/>

応募者は、下記の提出物を全て期日までに提出してください。不足がありますと、**審査対象外**となります。

(1) 郵送が必須の書類 ※電子メールでの提出不可

対象	応募書類	様式番号	備考・詳細
全員	推薦書 (原本要)	様式⑥	原本提出要。外国語の場合は和訳必須。和訳は任意様式。 詳細は13ページ参照
全員	作品資料	任意形式	13, 14ページを参照。 ・DVD資料 ・A4版クリアファイル作品資料, 活動実績資料など・その他スコアなど
美術分野 (作品制作者)のみ	代表作1枚	任意形式	13ページを参照 ・A4サイズ・片面カラー ・作品クリアファイルの中には入れないでください。
対象者 のみ	DVD資料 内容一覧	別添①	14ページを参照。
対象者 のみ	作品クリア ファイル目 次様式	別添②	14ページを参照。

(2) 電子メールもしくは郵送にて受付可能な書類

対象	応募書類	様式番号	備考・詳細
全員	申込書A	様式①	9ページ参照 自筆サインが必須。 電子メール送付の場合, スキャンして提出要。
全員	申込書B	様式②	9ページ参照
全員	経歴書	様式③	10ページ参照
全員	研修計画書	様式④	11ページ参照
全員	受入承諾書 (写し)	任意様式	12ページ参照
全員	受入承諾書 説明書	様式⑤	12ページ参照

第6章 応募書類の提出方法

応募書類は、下記を参照の上、規定に従って提出してください。

(1) 応募時の留意点

- 推薦書、作品資料は郵送のみでの受付となります。(提出期限は他の郵送書類と同様です。)
- 提出期限内であっても、一度提出された書類等の差し替えはできません。**重複する書類を提出された場合、後日提出されたものは無効とします。**(事務局から依頼する場合を除く)
- 提出された書類は添付資料も含め、**返却しません**ので御了承ください。
- 提出した書類については、記載内容に関して照会することがありますので、**必ず写しを保管**してください。

(2) 郵送にて提出する場合

①提出期限

令和3年8月10日(火)消印有効

(作品資料のみ郵送される場合も同期限です。)

②提出先

下記事務局または、別紙1記載の芸術団体。

(書類を海外から発送される場合は芸術団体への提出は不可。)

◆提出先◆ (事務局)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 UD神谷町ビル11階

株式会社日本旅行 グローバルソリューション営業本部公務法人営業部

「新進芸術家海外研修制度事業」事務局 担当： 桐田・高山 宛

TEL: 03-5402-6474

③留意事項

<応募書類作成時>

- 別途郵送が必要なもの以外は、様式番号順に一式揃えて提出してください。
- 各様式は、A4紙の片面1枚に収まるよう情報を厳選し、記入してください。
- 様式以外の別紙などは原則認めておりません。様式内での記載をしてください。
(別紙をご提出頂きますしても、審査書類には含めません。)
- 書類はクリップ止めとし、のりやホチキス等で留めないでください。
- 電子メールで送付する書類がある場合は、郵送物に電子メール送信日のメモを入れてください。
- 電子メールにて送付した書類を重複して入れないでください。

<発送時>

- ・ 封筒に「**令和4年度新進芸術家海外研修制度(長期)申込書在中**」と**朱書き**してください。
- ・ 郵送の場合は書留・レターパック、宅配便など(特定記録郵便等配達記録が残る方法によること。)により送付してください。持参による提出はできません。

◆海外から郵送物を発送される場合◆

郵送物の遅延等が発生する可能性があるため、(1)の期日までに郵送物の送付日、送付方法(郵便, Fedex等)及び追跡番号を事務局の応募用の電子メール (applyzaiken_zaiken@nta.co.jp) に連絡してください。

(3) 電子メールにて提出する場合 (PDF化必須)

①提出期限

令和3年8月10日(火) 必着(日本時間)

②提出先メールアドレス

applyzaiken_zaiken@nta.co.jp (応募専用アドレス)

※受信専用アドレスです。質問などは目次ページに記載のアドレスにお送りください。

③留意事項

- 件名に「【氏名】令和4年度(長期)申込」と明記してください。
- 様式①～様式⑤までをPDF化し、一度のメールで提出してください。
- PDFファイル変換時に文字の見切れなどがないよう注意してください。
- 推薦書,作品資料を郵送送付した日時を様式①に記載してください。
(提出期限は他の郵送書類と同様です。遅延なく送付してください。)
- 電子メールで申込書等を提出する場合、郵送物の中に電子メールを送信した日時を記載したメモを同封してください。(電子メールで提出した書類を郵送物には入れないでください。)
- 上記アドレスにメール送信後,受信確認返信メールが自動配信されます。送信後24時間経過しても,自動返信メールが届かない場合は,事務局までお問い合わせください。

第7章 応募書類記入上の注意事項

- 研修計画は、応募者自身が作成してください。指定のない箇所は日本語で記入してください。
- 書類の状況も審査対象となります。下記に従って書類を作成し、記入漏れや、不備がないように御注意ください。受付後の書類の差し替え、訂正はできません。
- 提出期限内であっても、一度提出された書類等の差し替えはできません。重複する書類を提出された場合、後日提出されたものは無効とします。（事務局から依頼がある場合を除く）
- 応募書類提出後や採択後、研修期間（1年研修→2年研修に変更等）、受け入れ先や指導者等、研修内容の大幅な変更をすることは出来ませんので、御注意ください。

本研修制度に関するQ&Aを公式ホームページ (<https://www.zaikenbunka.go.jp/qa.html>) に掲載しています。応募の際の参考にしてください。

様式①「申込書A」

- ・本制度にお申込み頂く際は、16ページの「個人情報の取り扱い」に同意したものとみなします。必ず内容をご確認ください。
- ・「現住所」日本国内の場合は、こちらに審査結果通知を郵送します。
- ・「電話・携帯電話」問い合わせをする場合がございます。どちらか必ずご記入ください。
- ・「Email」問い合わせをする場合がございます。必ずご記入ください。
- ・「日本国内連絡先」海外在住者の場合は、こちらに結果通知を郵送します。
- ・「保護者の同意欄」応募者が未成年の場合は、保護者の同意欄の記入が必要です。
- ・「所属組織の同意」現在就業中で研修期間中も在籍をする場合は「所属組織の同意」欄の記入が必要です。（研修開始前に退職される場合は不要。）

様式②「申込書B」

【分野】

- ・応募する分野のいずれか一つにチェックしてください。（複数不可）
- ・美術分野の方は、「作品制作者」か「その他（マネージメント、実作者のサポート等）」のどちらかの欄にチェックを入れてください。
- ・バレエ伴奏等、音楽以外の分野に特化した演奏を主とする場合は、その分野へ応募してください。
- ・高校生研修は、音楽・舞踊のみ応募が可能です。

【専門分野】

- ・芸術上の専門を細かい分類で簡潔に記入してください。
（記入例：現代美術（映像）、声楽（ソプラノ）、ヴァイオリン 等）

【研修区分】

- ・応募する区分のいずれか一つにチェックしてください。
- ・選考結果により研修区分を変更することはできませんので、熟考の上、選択してください。

【研修時期】

- ・研修の開始日は原則として、令和4年9月1日から令和5年3月31日の間に日本を出発する日とし、終了日は日本到着日となります。（海外在住の場合は研修国での研修開始日～終了日

まで。)

- ・各研修区分における研修日程は、別紙2の「研修期間早見表」を参考に記載してください。
- ・原則として承認される滞在費支給期間は、受入承諾書記載の期間となります。
(現地滞在者以外は、受入れ期間前後7日間の準備期間を認める場合もあります。)

【研修予定国・都市、研修地が複数となる理由】

研修先は1か所を原則とします。都市名は研修先所在住所の都市名を記入してください。特段の理由がある場合に限り複数地の申請を認めます。複数地で研修する予定の方は、その理由を必ず記入してください。

【氏名ほか】

- ・「氏名(芸名等)」 ふりがなをつけてください。
- ・「写真」 正面上半身、背景無地、提出の6か月以内に撮影したものをしっかりと貼り付けてください。(興行用写真、旅行先のスナップ写真等は不可) 郵送する場合は、裏には氏名を記入してください。デジタル写真の貼付可。(必ず枠内に収めてください。)
- ・「職業名」 職業名を記載してください。(記入例: 美術家、音楽家、学芸員、会社員、学生、等)
- ・「国籍」 国籍が日本国以外の方は、永住権が確認できる書類の写しを添付してください。
- ・「勤務先又は学校名」 現在の勤務先がある場合は会社名と役職を、学生の場合は、学校名・学年を記入してください。独立して活動している場合は「フリー」と記入してください。
- ・「所属団体」 芸術活動上の所属団体(専門分野の統括団体等)を記入してください。勤務先ではありません。所属がない場合は「なし」と記入してください。
- ・「健康状態」 長期加療中(最近5年間)の場合は「既往歴」に状況を記入してください。
- ・「身長・体重」 声楽及び舞踊分野で応募される方のみ記入してください。

【最終学歴ほか】

- ・「資格」 芸術活動や職業に関係のある資格のみ記入してください。
- ・「語学」 語学レベルを自己評価で記入いただくとともに、英検等の資格やTOEICの点数などを記入してください。英語以外に研修に必要と考えられる外国語は必ず記入してください。
- ・「本制度への応募履歴」 応募した年度、分野を全て記入してください。
- ・「本制度での研修歴」 研修された年度、期間、国、分野を全て記入してください。
- ・「他の海外研修制度との併願状況」 他の研修(留学)制度に応募している場合(応募予定の場合を含む)、申請先の団体名、結果発表日(予定)を必ず記入してください。(4ページの「他の公募事業との併願について」を要参照。)

【作品資料の種別】

13, 14ページを参照いただき、同封される作品資料の種別を選択してください。

【書類提出先団体】

書類提出先団体(別紙1)を通じて提出される方は、該当する団体名を必ず記入してください。

様式③「経歴書」

枠内に収まらない経歴のある場合は、収まる範囲で代表的なものをご記入ください。(行の追加は行わないでください。)

【1. 専門教育や研修等の履修歴】

国内・海外を問わず専門教育を受けた学校名や卒業、修了等の別とその年月及び期間(〇年、〇か月等)を記入してください。特定の師事者による個人レッスン等も記入していただいて構いません。

在学中，在籍中などの場合は，その旨を記入し，「和暦年」欄に＜現在＞と記入してください。

【2. 職業略歴】

就職，就業，芸術団体等への所属など，芸術活動に関係のある職歴を記入してください。離職した場合はその旨も記載してください。未就業者は記入不要です。

【3. 主な海外滞在歴】

1か月以上の滞在のみ記入してください。【1】，【2】と重複しても構いません。滞在理由には就学，研修，就職，就業，親との居住等，理由を簡潔に記入してください。

【4. 主な芸術活動の履歴】

これまでに発表した主な作品や関わった舞台公演，展覧会等の履歴を記入してください。なお，舞台公演の場合には，公演名，出演した役名や演出・脚本などの役割，展覧会の場合には，展覧会名，御自分の出展した作品名や企画・運営上の役割を必ず記入してください。

【5. 受賞等の履歴】

芸術活動の成果による受賞，奨学金の受給などの履歴を記入してください。

様式④「研修計画書」

特別の事情により研修施設が複数になる場合は，1施設につき1枚作成してください。

枠の大きさは変更不可。

【1. 研修施設】

- ・「国名」は日本語，「都市名」と「施設名称」は日本語と外国語表記で記入してください。
- ・「施設名称」は研修先が個人の場合は，「なし」と記入してください。
- ・「施設の設置者」 国政府，地方自治体名，学校法人名，会社名などを，日本語訳で具体的に記入してください。研修先が個人の場合は「なし」と記入してください。
- ・「所在地」 外国語表記で記入してください。個人指導の場合は研修を受ける場所を記入してください（個人宅可）。
- ・「電話番号」 国番号，地域番号も記入してください。
- ・「URL」 研修先の施設や個人の方のホームページアドレスを記入してください。
- ・「代表者」 日本語と外国語表記で職名と氏名を記入してください。研修先が個人の場合は「なし」と記入してください。
- ・「研修施設の種別」，「研修形態」 該当するものにチェックしてください。
- ・「主たる指導者」 日本語と外国語表記で主に師事する教授名などを記入してください。研修先が個人の場合は，その方の氏名などを記入してください。
- ・「受入承諾書の状況」 該当するいずれかにチェックしてください。「受入承諾書説明書」（様式⑤）も別途提出が必要です。
- ・「施設の概要」 沿革，事業内容，職員数，学生数などを300文字以内で簡潔に記入してください。研修先が個人の場合は，師事者の紹介等を記入してください。

【2. 研修目的】

研修を行うことで，どのような成果を求めているのか，今後の芸術活動にどのように生かしていくのかなど，360文字以内で具体的かつ簡潔に記入してください。

【3. 研修方法】

研修方法や研修カリキュラムの内容について具体的に記入してください。1700文字以内。

「受入承諾書（写し）」

- ・研修施設等の受入れを証明する重要な書類です。研修施設の代表者、若しくは研修の師事者等に作成してもらい提出してください。（任意様式で可。下記の必要事項が全て記載してあること。）

（必要記載事項）

- 受入れ期間（ 年 月～ 年 月）
※研修期間を満たす期間を必ず明記すること。
- 承諾の日付
- 承諾者の名前、署名（直筆サイン）
- 応募者の氏名

- ・受入承諾書は写しを提出してください。原本は応募者本人で保管してください。
- ・受入承諾書が外国語の場合には、和訳を「受入承諾書説明書」（様式⑤）に記入してください。（応募者本人の翻訳可）
- ・受入先が団体・組織の場合は、必ずレターヘッドのあるものを提出してください。

➤ 既に学校等（研修施設）に在籍されている場合

学生証等でも構いませんが、在籍期間が申込書の研修期間を満たさない場合は、期間を満たす卒業時期などが記載されているものを必ず同送してください。（学校のウェブサイト記載の学事歴等でも可・和訳必須）

※年度や学期のみの記載（例：○年度秋期，第1 Semester，等）では受入期間が確認できませんので、必ず○年○月～○年○月と記載があるものを提出してください。

様式⑤「受入承諾書説明書」

- 入手済みの場合は、受入承諾書記載の内容・和訳を該当項目に記載してください。
- 応募時点で「受入承諾書」が入手できない場合
 - ・「受入承諾書説明書」の「未入手の理由」欄に「受入承諾書」の提出予定時期と承諾書が得られていない理由を具体的に記入してください。
 - ・これから入学試験を受験予定の方も「未入手の理由」にその旨を記載してください。
 - ・「受入承諾書」が未入手の場合でも、一次審査（書面審査）を受けることはできますが、受入承諾の状況も審査には関係しますので、「受入承諾書」は入手次第、写しと「受入承諾書説明書」（受入承諾書の内容・和訳を記載したもの）を事務局に提出してください。（「受入承諾書」の原本は提出しないでください。）なお、「受入承諾書」は、二次審査（面接審査・令和4年1月～2月頃）の時点では必須のものになり、未入手の場合には審査は不合格となる場合がありますので、御留意ください。

様式⑥「推薦書」（原本）

原本の提出が必須です。推薦者（芸術上の師事者等）に記入していただくものです。推薦者は1名限りとします。推薦者氏名、職名（役職名、専門等）を記入し、自筆サインの上、原本を提出ください。外国語で記入された推薦書については、様式⑥の項目内容を記入して頂き、和訳を必ず添付してください（応募者本人の翻訳可）。

A4代表作について

- ・美術分野（作品制作者のみ）提出必須。他分野は不要。
- ・代表作をA4（片面・カラー）1枚にまとめて印刷してください。
- ・表面に、応募者氏名（本名）を記載してください。

- ・ 作品名，制作年を含む作品情報を記載してください。
- ・ 別途，作品資料（クリアファイルまたはDVD）を必ず提出してください。
- ・ A4代表作はクリアファイルには挿入しないでください。

作品資料について

（1）各分野の提出作品種別について

下記の表に従い作成してください。なお，作品資料は，応募者の専門分野における現在の実技等の実力が確認できるものとしてください。また，**提出した作品資料の返却は行いません**ので御了承ください。

分野		提出資料 ※各分野の作品資料における『～年以内 に出演・制作・収録したもの』の記述に ついては 令和3年4月を起算日とするこ と	備考
美術		作品の写真，印刷物（写し・カラー） ※過去10年以内に制作したもの	A4版のクリアファイル（20ポケット以内）に収めること。 。（作品が 動画 の場合は，DVDに収録し添付すること） 別添1もしくは別添2を添付すること。
音楽	声楽	選考用DVD（音源のみは不可） ※過去1年以内に収録したもの	応募者本人の独唱部分を含むものであり，応募者本人を確認できるようにすること。 複数曲収録すること。
	演奏	選考用DVD（音源のみは不可） ※過去1年以内に収録したもの	独奏の部分を含むものであり，応募者本人を確認できるようにすること（指揮については指揮風景等も含む，コレパティトゥールについては指導風景等を収録すること）。 複数曲収録すること。独奏曲の小品については曲中のカットは不可。収録時間は全体で15分～30分とすること。
	作曲	作品のスコア ※過去5年以内に制作したもの	A4サイズ。複数枚可。 スコアがない音源は理由書を添付すること。 可能な限り音源（DVDに収録）を添付すること。 ※映像無しの音のみのDVDでも構いません。CD形式不可。
	オペラ 演出	演出企画書（写し）等 ※過去5年以内に制作したもの	A4版のクリアファイル（20ポケット以内）に収めること。 （可能な限り演出した作品をDVDに収録し添付すること）
舞踊		選考用DVD ※過去1年以内に出演，制作したもの	ダンサーの場合は ソロで踊っている部分を含むもの であり， 応募者本人の全身を確認できるようにすること。
演劇		提出不要	作品資料による 技術審査は行いません 。
舞台美術等		提出不要	作品資料による 技術審査は行いません 。
映画		選考用DVD ※過去3年以内に出演，制作したもの	作品をDVDに収録すること。 俳優の場合は応募者本人の出演部分を含むもの であり， 応募者本人を確認できるようにすること。
メディア芸術		作品の写真（写し・カラー），作品が動画等の場合はDVD ※過去3年に制作したもの	A4版のクリアファイル（20ポケット以内）に収めること。 作品内容の梗概を添付すること。（作品が動画の場合は，DVDに収録し添付すること） 別添1もしくは別添2を添付すること。
(各分野における)アートマネージメント・評論等，作品制作者・実演者以外		活動実績についての資料	A4版のクリアファイル（20ポケット以内）に収めること。 （論文については，日本語の梗概を添付すること） 企画等，実績のわかる資料を添付すること。

(2) 作品資料の作成方法

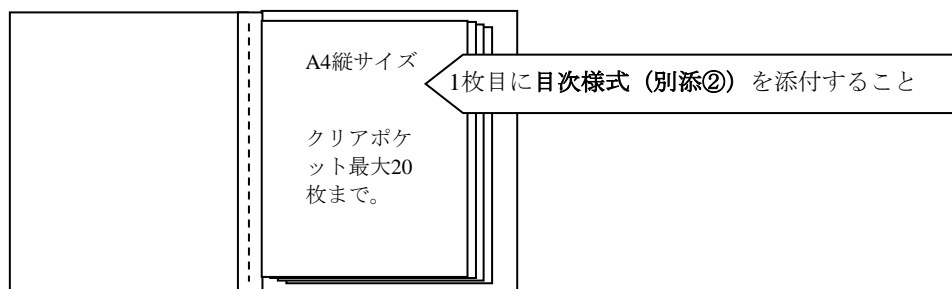
①DVD資料の作成について

- ・映像資料や音楽資料は、DVDで1枚にまとめてください。
- ・収録時間は1曲・1作品5分以内、全体で15分以内にしてください。※
- ・DVDの形式：一般の日本製DVDプレーヤーで再生可能なDVDビデオ形式にしてください。
- ・必ずファイナライズ処理を行ってください。
- ・DVDに含まれる全作品でトラックは1つとし、作品・曲ごとにチャプターを入れてください。
- ・曲等について冒頭から収録する必要はなく、最も自分をアピールできる所が確認できるように編集してください。※
- ・DVDはハードケース（不織布不可）に入れてください。
- ・DVDの盤面及びケースに「応募分野」，「氏名（本名）」，を明記してください。
- ・収録内容について、必ず別添①「DVD資料内容一覧様式」を添付してください。

※音楽分野・演奏は除く（13ページの「作品資料について」（1）表中の備考欄参照のこと）

②A4判のクリアファイルの作成について

- ・紙資料は、A4判のクリアファイル1冊（縦サイズ・20ポケット以内）に収めてください。
- ・1ポケットにつき、A4サイズ1枚の作品を両面に入れてください。
- ・写真は縦向きに配置してください。（1ページに複数枚掲載可。）
- ・全てのページをクリアポケットから取り出さずに見られるようにしてください。
- ・「クリアファイル目次様式（別添②）」を使用し、目次として1ページ目に挿入してください。
- ・目次を含めて40ページ以内（クリアポケット20枚以内）とってください。
- ・作品の写真等には作品名・制作年を含む作品情報を付けてください。
- ・公演などの写真であって複数の人物が写っている場合は応募者本人が特定できるように明記してください。



第8章 選考スケジュール

応募書類提出後のスケジュールは下記をご参照ください。

応募書類提出期限	令和3年8月10日（火）消印有効 全ての書類を上記期日までに提出してください。
1次選考（書類選考）	令和3年10月～12月 審査員による書面審査を実施。
2次選考日程（面接）の公表	令和3年10月下旬～11月上旬頃 2次選考の日程を文化庁ホームページにて公表します。
1次選考結果通知	令和3年12月中 応募者全員に結果を通知します。（郵送書面による通知） ※12月中に結果が届かない場合は事務局までご連絡ください。
2次選考（面接） 東京都内にて実施	令和4年1月～2月 1次選考合格者については、2次選考（面接）を実施します。 詳細は下記参照。
2次選考結果通知	令和4年3月中旬頃 2次選考対象者全員に結果を通知します。（郵送書面による通知） ※3月中に結果が届かない場合は、事務局までご連絡ください。



採択決定後

誓約書・研修計画書等の提出	令和4年3月下旬～4月上旬 採択者全員に電子メールにて提出書類の連絡をします。
選考結果の決定通知	令和4年4月～5月頃 正式決定は令和4年度政府予算成立後です。

※ 上記日程は予定ですので、応募数等により日程が前後する場合があります。

●2次選考（面接）について

- ・2次選考日（面接）は、選考結果通知前に文化庁ホームページにて公表します。
（10月下旬～11月上旬頃）<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/>
- ・1次選考結果通知にて指定された面接日程の変更はできません。
- ・オンラインでの面接は実施していません。必ず会場（東京都内）にお越しください。
- ・海外在住者の方は、面接日に合わせて予定を調整してください。
- ・面接会場までの旅費は支給いたしません。

第9章 個人情報の取扱い

本研修制度に応募される場合、応募書類を送られる前に必ず下記内容をご確認ください。

【本研修制度における個人情報の取扱いについて】

- 1) 個人情報保護管理責任者の氏名又は職名、所属及び連絡先
弊社は、次の者を個人情報の保護管理者として任命し、個人情報を適切かつ安全に管理し、個人情報の漏えい、滅失又はき損を防止する保護策を講じています。

株式会社日本旅行 グローバルソリューション営業本部
公務法人営業部 部長 山本綾子
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 UD神谷町ビル11階
TEL : 03-5402-6474 FAX : 03-3437-3955

- 2) 個人情報の利用目的
提供される個人情報は、次に記された目的（業務）のために弊社の正当な事業範囲内で利用いたします。
(ア) 文化庁新進芸術家海外研修制度における事務局運営
(イ) 文化庁への提出資料作成
個人情報の提供はご本人の任意で行うことができますが、必要な個人情報の一部または全部を提供されなかった場合は上記に記された目的（業務）に付随するサービスを提供できない場合があります。

- 3) 個人情報の第三者提供
提供された個人情報はあらかじめ同意をいただいている場合を除き、第三者への提供はいたしません。但し、次の場合はその限りではありません。
・国もしくは地方公共団体等の機関から適法に要求された場合、及び法令に基づく場合。
・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合。

- 4) 個人情報の委託
弊社では2) 項に記された目的を達成するために、業務の一部を委託する場合があります。この場合、個人情報を適切に取り扱っている委託先を選定し、個人情報の適正管理や機密の保持に関して契約等を締結し適切な管理を実施します。

- 5) 本人が容易に認識できない方法による個人情報の取得
弊社では、本人が容易に認識できない方法による個人情報の取得は行っておりません。

- 6) 個人情報の利用停止、開示、訂正・削除等の応諾
弊社では、ご本人からの求めにより自己に関する個人情報の利用目的の通知、開示、訂正・削除及び利用・提供の停止に応諾しております。その際はご本人様を確認し、合理的な期間内に対応いたします。
尚、個人情報に関する弊社の問合せ先は次の通りです。

<個人情報お問合せ窓口>

株式会社日本旅行 グローバルソリューション営業本部
公務法人営業部 桐田、高山
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 UD神谷町ビル11階
TEL : 03-5402-6474 FAX : 03-3437-3955

以上

【別紙1】

新進芸術家海外研修制度 応募書類提出先団体一覧（芸術団体）

下記団体へ提出された場合、団体が応募書類を取りまとめ、事務局に提出されます。なお、**団体に提出される場合であっても、提出締切日は変わりません。**（書類を海外から発送される場合は芸術団体への提出は不可です。）

※事務局、提出先団体いずれに書類を提出されても、審査の評価に違いはありません。

分野	団体名	郵便番号	住所	電話番号	F A X
美術	(一社)日本美術家連盟	〒 104-0061	東京都中央区銀座3-10-19 美術家会館5階	03-3542-2581	03-3545-8429
	(公社)日本工芸会	〒 110-0007	東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館内	03-3828-9789	03-3828-0025
	(公社)日本写真協会	〒 102-0082	東京都千代田区一番町25 JC11ビル4F	03-5276-3585	03-5276-3586
	(一社)日本写真作家協会	〒 104-0061	東京都中央区銀座1-19-3 銀座ウイステリアビル3F	03-3535-6251	03-3535-6250
	(一社)日本建築美術工芸協会	〒 108-0014	東京都港区芝5-26-20	03-3457-7998	03-3457-1598
音楽	(公社)日本演奏連盟	〒 105-0004	東京都港区新橋3-1-10 石井ビル6F	03-3539-5131	03-3539-5132
舞踊	(一社)日本バレエ団連盟	〒 160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F	03-6279-4771	03-6279-4772
	(一社)現代舞踊協会	〒 150-0021	東京都渋谷区恵比寿西1-21-3 グレイス代官山402	03-5457-7731	03-5457-7732
	(一社)日本フラメンコ協会	〒 164-0001	東京都中野区中野3-3-6	03-3383-0413	03-3384-5711
演劇	(一社)日本演出者協会	〒 160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F	03-5909-3074	03-5909-3075
	(公社)日本劇団協議会	〒 160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F	03-5909-4600	03-5909-4666
	日本新劇俳優協会	〒 106-0032	東京都港区六本木4-9-2 俳優座ビル504号	03-3746-8707	03-3746-8707
	(一社)日本劇作家協会	〒 166-0002	東京都杉並区高円寺北2-29-14-501	03-5373-6923	03-5364-9205
	(協)日本俳優連合	〒 160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F	03-5909-3070	03-5909-3071
	(公社)国際演劇協会日本センター	〒 151-0051	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂内	03-3478-2189	03-3478-7218
映画	(公社)映像文化製作者連盟	〒 103-0016	東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7F	03-3662-0236	03-3662-0238
	(協)日本映画撮影監督協会	〒 157-8561	東京都世田谷区成城1-4-1 東宝スタジオ オフィスセンター2F	03-6411-1690	03-6411-1691
	(協)日本映画・テレビ照明協会	〒 160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F	03-5909-3396	03-5909-3397
	(協)日本映画製作者協会	〒 160-0022	東京都新宿区新宿1-10-3 太田紙興新宿ビル1F	03-5315-0430	03-5315-0431
	(協)日本シナリオ作家協会	〒 103-0013	東京都中央区日本橋人形町2-34-5 シナリオ会館	03-6810-9550	03-6810-9551
	(一社)コミュニティシネマセンター	〒 150-0044	東京都渋谷区円山町1-5 5F	050-3535-1573	03-3461-0760
舞台美術等	(一社)日本舞台監督協会	〒 102-0071	東京都千代田区富士見2-12-16-202	03-6256-9535	03-6256-9535
	(一社)日本舞台美術家協会	〒 151-0066	東京都渋谷区西原1-28-4 興和ビル203	03-6300-9104	03-6300-9104
	(一社)パシフィックリエーターズ・PaCPA Pacific Creators for the Performing Arts	〒 150-0011	東京都渋谷区東1-17-2 イーストスカイコート101号	080-2244-4494	03-6802-5516
	(公社)日本照明家協会	〒 160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F	03-5323-0201	03-5323-0205
	(公社)日本舞台音響家協会	〒 169-0075	東京都新宿区高田馬場1-29-22 寿ビル205	03-3205-6943	03-6380-3102
	(一社)劇場芸術技術連盟	〒 179-0085	東京都練馬区早宮1-27-19	03-3991-6402	03-3991-6402
メディア芸術	(公財)画像情報教育振興協会 (CG-ARTS)	〒 104-0061	東京都中央区銀座1-8-16 銀座アスタービル3F	03-3535-3501	03-3562-4840
	(一社)コンピュータ・デザイン・協会	〒 163-0718	東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル18階	03-6302-0231	03-6302-0362
	(公社)日本芸能実演家団体協議会	〒 160-8374	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F	03-5909-3060	03-5909-3061

別紙2【令和4年度研修期間早見表】

1年研修（350日間）

出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日
2022/9/1	2023/8/17	2022/10/1	2023/9/16	2022/11/1	2023/10/17	2022/12/1	2023/11/16	2023/1/1	2023/12/17	2023/2/1	2024/1/17	2022/3/1	2023/2/14
2022/9/2	2023/8/18	2022/10/2	2023/9/17	2022/11/2	2023/10/18	2022/12/2	2023/11/17	2023/1/2	2023/12/18	2023/2/2	2024/1/18	2022/3/2	2023/2/15
2022/9/3	2023/8/19	2022/10/3	2023/9/18	2022/11/3	2023/10/19	2022/12/3	2023/11/18	2023/1/3	2023/12/19	2023/2/3	2024/1/19	2022/3/3	2023/2/16
2022/9/4	2023/8/20	2022/10/4	2023/9/19	2022/11/4	2023/10/20	2022/12/4	2023/11/19	2023/1/4	2023/12/20	2023/2/4	2024/1/20	2022/3/4	2023/2/17
2022/9/5	2023/8/21	2022/10/5	2023/9/20	2022/11/5	2023/10/21	2022/12/5	2023/11/20	2023/1/5	2023/12/21	2023/2/5	2024/1/21	2022/3/5	2023/2/18
2022/9/6	2023/8/22	2022/10/6	2023/9/21	2022/11/6	2023/10/22	2022/12/6	2023/11/21	2023/1/6	2023/12/22	2023/2/6	2024/1/22	2022/3/6	2023/2/19
2022/9/7	2023/8/23	2022/10/7	2023/9/22	2022/11/7	2023/10/23	2022/12/7	2023/11/22	2023/1/7	2023/12/23	2023/2/7	2024/1/23	2022/3/7	2023/2/20
2022/9/8	2023/8/24	2022/10/8	2023/9/23	2022/11/8	2023/10/24	2022/12/8	2023/11/23	2023/1/8	2023/12/24	2023/2/8	2024/1/24	2022/3/8	2023/2/21
2022/9/9	2023/8/25	2022/10/9	2023/9/24	2022/11/9	2023/10/25	2022/12/9	2023/11/24	2023/1/9	2023/12/25	2023/2/9	2024/1/25	2022/3/9	2023/2/22
2022/9/10	2023/8/26	2022/10/10	2023/9/25	2022/11/10	2023/10/26	2022/12/10	2023/11/25	2023/1/10	2023/12/26	2023/2/10	2024/1/26	2022/3/10	2023/2/23
2022/9/11	2023/8/27	2022/10/11	2023/9/26	2022/11/11	2023/10/27	2022/12/11	2023/11/26	2023/1/11	2023/12/27	2023/2/11	2024/1/27	2022/3/11	2023/2/24
2022/9/12	2023/8/28	2022/10/12	2023/9/27	2022/11/12	2023/10/28	2022/12/12	2023/11/27	2023/1/12	2023/12/28	2023/2/12	2024/1/28	2022/3/12	2023/2/25
2022/9/13	2023/8/29	2022/10/13	2023/9/28	2022/11/13	2023/10/29	2022/12/13	2023/11/28	2023/1/13	2023/12/29	2023/2/13	2024/1/29	2022/3/13	2023/2/26
2022/9/14	2023/8/30	2022/10/14	2023/9/29	2022/11/14	2023/10/30	2022/12/14	2023/11/29	2023/1/14	2023/12/30	2023/2/14	2024/1/30	2022/3/14	2023/2/27
2022/9/15	2023/8/31	2022/10/15	2023/9/30	2022/11/15	2023/10/31	2022/12/15	2023/11/30	2023/1/15	2023/12/31	2023/2/15	2024/1/31	2022/3/15	2023/2/28
2022/9/16	2023/9/1	2022/10/16	2023/10/1	2022/11/16	2023/11/1	2022/12/16	2023/12/1	2023/1/16	2024/1/1	2023/2/16	2024/2/1	2022/3/16	2023/3/1
2022/9/17	2023/9/2	2022/10/17	2023/10/2	2022/11/17	2023/11/2	2022/12/17	2023/12/2	2023/1/17	2024/1/2	2023/2/17	2024/2/2	2022/3/17	2023/3/2
2022/9/18	2023/9/3	2022/10/18	2023/10/3	2022/11/18	2023/11/3	2022/12/18	2023/12/3	2023/1/18	2024/1/3	2023/2/18	2024/2/3	2022/3/18	2023/3/3
2022/9/19	2023/9/4	2022/10/19	2023/10/4	2022/11/19	2023/11/4	2022/12/19	2023/12/4	2023/1/19	2024/1/4	2023/2/19	2024/2/4	2022/3/19	2023/3/4
2022/9/20	2023/9/5	2022/10/20	2023/10/5	2022/11/20	2023/11/5	2022/12/20	2023/12/5	2023/1/20	2024/1/5	2023/2/20	2024/2/5	2022/3/20	2023/3/5
2022/9/21	2023/9/6	2022/10/21	2023/10/6	2022/11/21	2023/11/6	2022/12/21	2023/12/6	2023/1/21	2024/1/6	2023/2/21	2024/2/6	2022/3/21	2023/3/6
2022/9/22	2023/9/7	2022/10/22	2023/10/7	2022/11/22	2023/11/7	2022/12/22	2023/12/7	2023/1/22	2024/1/7	2023/2/22	2024/2/7	2022/3/22	2023/3/7
2022/9/23	2023/9/8	2022/10/23	2023/10/8	2022/11/23	2023/11/8	2022/12/23	2023/12/8	2023/1/23	2024/1/8	2023/2/23	2024/2/8	2022/3/23	2023/3/8
2022/9/24	2023/9/9	2022/10/24	2023/10/9	2022/11/24	2023/11/9	2022/12/24	2023/12/9	2023/1/24	2024/1/9	2023/2/24	2024/2/9	2022/3/24	2023/3/9
2022/9/25	2023/9/10	2022/10/25	2023/10/10	2022/11/25	2023/11/10	2022/12/25	2023/12/10	2023/1/25	2024/1/10	2023/2/25	2024/2/10	2022/3/25	2023/3/10
2022/9/26	2023/9/11	2022/10/26	2023/10/11	2022/11/26	2023/11/11	2022/12/26	2023/12/11	2023/1/26	2024/1/11	2023/2/26	2024/2/11	2022/3/26	2023/3/11
2022/9/27	2023/9/12	2022/10/27	2023/10/12	2022/11/27	2023/11/12	2022/12/27	2023/12/12	2023/1/27	2024/1/12	2023/2/27	2024/2/12	2022/3/27	2023/3/12
2022/9/28	2023/9/13	2022/10/28	2023/10/13	2022/11/28	2023/11/13	2022/12/28	2023/12/13	2023/1/28	2024/1/13	2023/2/28	2024/2/13	2022/3/28	2023/3/13
2022/9/29	2023/9/14	2022/10/29	2023/10/14	2022/11/29	2023/11/14	2022/12/29	2023/12/14	2023/1/29	2024/1/14			2022/3/29	2023/3/14
2022/9/30	2023/9/15	2022/10/30	2023/10/15	2022/11/30	2023/11/15	2022/12/30	2023/12/15	2023/1/30	2024/1/15			2022/3/30	2023/3/15
		2022/10/31	2023/10/16			2022/12/31	2023/12/16	2023/1/31	2024/1/16			2022/3/31	2023/3/16

別紙2【令和4年度研修期間早見表】

2年研修（700日間）

出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日
2022/9/1	2024/8/1	2022/10/1	2024/8/31	2022/11/1	2024/10/1	2022/12/1	2024/10/31	2023/1/1	2024/12/1	2023/2/1	2025/1/1	2022/3/1	2024/1/30
2022/9/2	2024/8/2	2022/10/2	2024/9/1	2022/11/2	2024/10/2	2022/12/2	2024/11/1	2023/1/2	2024/12/2	2023/2/2	2025/1/2	2022/3/2	2024/1/31
2022/9/3	2024/8/3	2022/10/3	2024/9/2	2022/11/3	2024/10/3	2022/12/3	2024/11/2	2023/1/3	2024/12/3	2023/2/3	2025/1/3	2022/3/3	2024/2/1
2022/9/4	2024/8/4	2022/10/4	2024/9/3	2022/11/4	2024/10/4	2022/12/4	2024/11/3	2023/1/4	2024/12/4	2023/2/4	2025/1/4	2022/3/4	2024/2/2
2022/9/5	2024/8/5	2022/10/5	2024/9/4	2022/11/5	2024/10/5	2022/12/5	2024/11/4	2023/1/5	2024/12/5	2023/2/5	2025/1/5	2022/3/5	2024/2/3
2022/9/6	2024/8/6	2022/10/6	2024/9/5	2022/11/6	2024/10/6	2022/12/6	2024/11/5	2023/1/6	2024/12/6	2023/2/6	2025/1/6	2022/3/6	2024/2/4
2022/9/7	2024/8/7	2022/10/7	2024/9/6	2022/11/7	2024/10/7	2022/12/7	2024/11/6	2023/1/7	2024/12/7	2023/2/7	2025/1/7	2022/3/7	2024/2/5
2022/9/8	2024/8/8	2022/10/8	2024/9/7	2022/11/8	2024/10/8	2022/12/8	2024/11/7	2023/1/8	2024/12/8	2023/2/8	2025/1/8	2022/3/8	2024/2/6
2022/9/9	2024/8/9	2022/10/9	2024/9/8	2022/11/9	2024/10/9	2022/12/9	2024/11/8	2023/1/9	2024/12/9	2023/2/9	2025/1/9	2022/3/9	2024/2/7
2022/9/10	2024/8/10	2022/10/10	2024/9/9	2022/11/10	2024/10/10	2022/12/10	2024/11/9	2023/1/10	2024/12/10	2023/2/10	2025/1/10	2022/3/10	2024/2/8
2022/9/11	2024/8/11	2022/10/11	2024/9/10	2022/11/11	2024/10/11	2022/12/11	2024/11/10	2023/1/11	2024/12/11	2023/2/11	2025/1/11	2022/3/11	2024/2/9
2022/9/12	2024/8/12	2022/10/12	2024/9/11	2022/11/12	2024/10/12	2022/12/12	2024/11/11	2023/1/12	2024/12/12	2023/2/12	2025/1/12	2022/3/12	2024/2/10
2022/9/13	2024/8/13	2022/10/13	2024/9/12	2022/11/13	2024/10/13	2022/12/13	2024/11/12	2023/1/13	2024/12/13	2023/2/13	2025/1/13	2022/3/13	2024/2/11
2022/9/14	2024/8/14	2022/10/14	2024/9/13	2022/11/14	2024/10/14	2022/12/14	2024/11/13	2023/1/14	2024/12/14	2023/2/14	2025/1/14	2022/3/14	2024/2/12
2022/9/15	2024/8/15	2022/10/15	2024/9/14	2022/11/15	2024/10/15	2022/12/15	2024/11/14	2023/1/15	2024/12/15	2023/2/15	2025/1/15	2022/3/15	2024/2/13
2022/9/16	2024/8/16	2022/10/16	2024/9/15	2022/11/16	2024/10/16	2022/12/16	2024/11/15	2023/1/16	2024/12/16	2023/2/16	2025/1/16	2022/3/16	2024/2/14
2022/9/17	2024/8/17	2022/10/17	2024/9/16	2022/11/17	2024/10/17	2022/12/17	2024/11/16	2023/1/17	2024/12/17	2023/2/17	2025/1/17	2022/3/17	2024/2/15
2022/9/18	2024/8/18	2022/10/18	2024/9/17	2022/11/18	2024/10/18	2022/12/18	2024/11/17	2023/1/18	2024/12/18	2023/2/18	2025/1/18	2022/3/18	2024/2/16
2022/9/19	2024/8/19	2022/10/19	2024/9/18	2022/11/19	2024/10/19	2022/12/19	2024/11/18	2023/1/19	2024/12/19	2023/2/19	2025/1/19	2022/3/19	2024/2/17
2022/9/20	2024/8/20	2022/10/20	2024/9/19	2022/11/20	2024/10/20	2022/12/20	2024/11/19	2023/1/20	2024/12/20	2023/2/20	2025/1/20	2022/3/20	2024/2/18
2022/9/21	2024/8/21	2022/10/21	2024/9/20	2022/11/21	2024/10/21	2022/12/21	2024/11/20	2023/1/21	2024/12/21	2023/2/21	2025/1/21	2022/3/21	2024/2/19
2022/9/22	2024/8/22	2022/10/22	2024/9/21	2022/11/22	2024/10/22	2022/12/22	2024/11/21	2023/1/22	2024/12/22	2023/2/22	2025/1/22	2022/3/22	2024/2/20
2022/9/23	2024/8/23	2022/10/23	2024/9/22	2022/11/23	2024/10/23	2022/12/23	2024/11/22	2023/1/23	2024/12/23	2023/2/23	2025/1/23	2022/3/23	2024/2/21
2022/9/24	2024/8/24	2022/10/24	2024/9/23	2022/11/24	2024/10/24	2022/12/24	2024/11/23	2023/1/24	2024/12/24	2023/2/24	2025/1/24	2022/3/24	2024/2/22
2022/9/25	2024/8/25	2022/10/25	2024/9/24	2022/11/25	2024/10/25	2022/12/25	2024/11/24	2023/1/25	2024/12/25	2023/2/25	2025/1/25	2022/3/25	2024/2/23
2022/9/26	2024/8/26	2022/10/26	2024/9/25	2022/11/26	2024/10/26	2022/12/26	2024/11/25	2023/1/26	2024/12/26	2023/2/26	2025/1/26	2022/3/26	2024/2/24
2022/9/27	2024/8/27	2022/10/27	2024/9/26	2022/11/27	2024/10/27	2022/12/27	2024/11/26	2023/1/27	2024/12/27	2023/2/27	2025/1/27	2022/3/27	2024/2/25
2022/9/28	2024/8/28	2022/10/28	2024/9/27	2022/11/28	2024/10/28	2022/12/28	2024/11/27	2023/1/28	2024/12/28	2023/2/28	2025/1/28	2022/3/28	2024/2/26
2022/9/29	2024/8/29	2022/10/29	2024/9/28	2022/11/29	2024/10/29	2022/12/29	2024/11/28	2023/1/29	2024/12/29			2022/3/29	2024/2/27
2022/9/30	2024/8/30	2022/10/30	2024/9/29	2022/11/30	2024/10/30	2022/12/30	2024/11/29	2023/1/30	2024/12/30			2022/3/30	2024/2/28
		2022/10/31	2024/9/30			2022/12/31	2024/11/30	2023/1/31	2024/12/31			2022/3/31	2024/2/29

別紙2【令和4年度研修期間早見表】

3年研修（1,050日間）

出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日
2022/9/1	2025/7/17	2022/10/1	2025/8/16	2022/11/1	2025/9/16	2022/12/1	2025/10/16	2023/1/1	2025/11/16	2023/2/1	2025/12/17	2022/3/1	2025/1/14
2022/9/2	2025/7/18	2022/10/2	2025/8/17	2022/11/2	2025/9/17	2022/12/2	2025/10/17	2023/1/2	2025/11/17	2023/2/2	2025/12/18	2022/3/2	2025/1/15
2022/9/3	2025/7/19	2022/10/3	2025/8/18	2022/11/3	2025/9/18	2022/12/3	2025/10/18	2023/1/3	2025/11/18	2023/2/3	2025/12/19	2022/3/3	2025/1/16
2022/9/4	2025/7/20	2022/10/4	2025/8/19	2022/11/4	2025/9/19	2022/12/4	2025/10/19	2023/1/4	2025/11/19	2023/2/4	2025/12/20	2022/3/4	2025/1/17
2022/9/5	2025/7/21	2022/10/5	2025/8/20	2022/11/5	2025/9/20	2022/12/5	2025/10/20	2023/1/5	2025/11/20	2023/2/5	2025/12/21	2022/3/5	2025/1/18
2022/9/6	2025/7/22	2022/10/6	2025/8/21	2022/11/6	2025/9/21	2022/12/6	2025/10/21	2023/1/6	2025/11/21	2023/2/6	2025/12/22	2022/3/6	2025/1/19
2022/9/7	2025/7/23	2022/10/7	2025/8/22	2022/11/7	2025/9/22	2022/12/7	2025/10/22	2023/1/7	2025/11/22	2023/2/7	2025/12/23	2022/3/7	2025/1/20
2022/9/8	2025/7/24	2022/10/8	2025/8/23	2022/11/8	2025/9/23	2022/12/8	2025/10/23	2023/1/8	2025/11/23	2023/2/8	2025/12/24	2022/3/8	2025/1/21
2022/9/9	2025/7/25	2022/10/9	2025/8/24	2022/11/9	2025/9/24	2022/12/9	2025/10/24	2023/1/9	2025/11/24	2023/2/9	2025/12/25	2022/3/9	2025/1/22
2022/9/10	2025/7/26	2022/10/10	2025/8/25	2022/11/10	2025/9/25	2022/12/10	2025/10/25	2023/1/10	2025/11/25	2023/2/10	2025/12/26	2022/3/10	2025/1/23
2022/9/11	2025/7/27	2022/10/11	2025/8/26	2022/11/11	2025/9/26	2022/12/11	2025/10/26	2023/1/11	2025/11/26	2023/2/11	2025/12/27	2022/3/11	2025/1/24
2022/9/12	2025/7/28	2022/10/12	2025/8/27	2022/11/12	2025/9/27	2022/12/12	2025/10/27	2023/1/12	2025/11/27	2023/2/12	2025/12/28	2022/3/12	2025/1/25
2022/9/13	2025/7/29	2022/10/13	2025/8/28	2022/11/13	2025/9/28	2022/12/13	2025/10/28	2023/1/13	2025/11/28	2023/2/13	2025/12/29	2022/3/13	2025/1/26
2022/9/14	2025/7/30	2022/10/14	2025/8/29	2022/11/14	2025/9/29	2022/12/14	2025/10/29	2023/1/14	2025/11/29	2023/2/14	2025/12/30	2022/3/14	2025/1/27
2022/9/15	2025/7/31	2022/10/15	2025/8/30	2022/11/15	2025/9/30	2022/12/15	2025/10/30	2023/1/15	2025/11/30	2023/2/15	2025/12/31	2022/3/15	2025/1/28
2022/9/16	2025/8/1	2022/10/16	2025/8/31	2022/11/16	2025/10/1	2022/12/16	2025/10/31	2023/1/16	2025/12/1	2023/2/16	2026/1/1	2022/3/16	2025/1/29
2022/9/17	2025/8/2	2022/10/17	2025/9/1	2022/11/17	2025/10/2	2022/12/17	2025/11/1	2023/1/17	2025/12/2	2023/2/17	2026/1/2	2022/3/17	2025/1/30
2022/9/18	2025/8/3	2022/10/18	2025/9/2	2022/11/18	2025/10/3	2022/12/18	2025/11/2	2023/1/18	2025/12/3	2023/2/18	2026/1/3	2022/3/18	2025/1/31
2022/9/19	2025/8/4	2022/10/19	2025/9/3	2022/11/19	2025/10/4	2022/12/19	2025/11/3	2023/1/19	2025/12/4	2023/2/19	2026/1/4	2022/3/19	2025/2/1
2022/9/20	2025/8/5	2022/10/20	2025/9/4	2022/11/20	2025/10/5	2022/12/20	2025/11/4	2023/1/20	2025/12/5	2023/2/20	2026/1/5	2022/3/20	2025/2/2
2022/9/21	2025/8/6	2022/10/21	2025/9/5	2022/11/21	2025/10/6	2022/12/21	2025/11/5	2023/1/21	2025/12/6	2023/2/21	2026/1/6	2022/3/21	2025/2/3
2022/9/22	2025/8/7	2022/10/22	2025/9/6	2022/11/22	2025/10/7	2022/12/22	2025/11/6	2023/1/22	2025/12/7	2023/2/22	2026/1/7	2022/3/22	2025/2/4
2022/9/23	2025/8/8	2022/10/23	2025/9/7	2022/11/23	2025/10/8	2022/12/23	2025/11/7	2023/1/23	2025/12/8	2023/2/23	2026/1/8	2022/3/23	2025/2/5
2022/9/24	2025/8/9	2022/10/24	2025/9/8	2022/11/24	2025/10/9	2022/12/24	2025/11/8	2023/1/24	2025/12/9	2023/2/24	2026/1/9	2022/3/24	2025/2/6
2022/9/25	2025/8/10	2022/10/25	2025/9/9	2022/11/25	2025/10/10	2022/12/25	2025/11/9	2023/1/25	2025/12/10	2023/2/25	2026/1/10	2022/3/25	2025/2/7
2022/9/26	2025/8/11	2022/10/26	2025/9/10	2022/11/26	2025/10/11	2022/12/26	2025/11/10	2023/1/26	2025/12/11	2023/2/26	2026/1/11	2022/3/26	2025/2/8
2022/9/27	2025/8/12	2022/10/27	2025/9/11	2022/11/27	2025/10/12	2022/12/27	2025/11/11	2023/1/27	2025/12/12	2023/2/27	2026/1/12	2022/3/27	2025/2/9
2022/9/28	2025/8/13	2022/10/28	2025/9/12	2022/11/28	2025/10/13	2022/12/28	2025/11/12	2023/1/28	2025/12/13	2023/2/28	2026/1/13	2022/3/28	2025/2/10
2022/9/29	2025/8/14	2022/10/29	2025/9/13	2022/11/29	2025/10/14	2022/12/29	2025/11/13	2023/1/29	2025/12/14			2022/3/29	2025/2/11
2022/9/30	2025/8/15	2022/10/30	2025/9/14	2022/11/30	2025/10/15	2022/12/30	2025/11/14	2023/1/30	2025/12/15			2022/3/30	2025/2/12
		2022/10/31	2025/9/15			2022/12/31	2025/11/15	2023/1/31	2025/12/16			2022/3/31	2025/2/13

別紙2【令和4年度研修期間早見表】

特別研修（80日）

出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日	出発日	帰国日
2022/9/1	2022/11/20	2022/10/1	2022/12/20	2022/11/1	2023/1/20	2022/12/1	2023/2/19	2023/1/1	2023/3/22	2023/2/1	2023/4/22	2022/3/1	2022/5/20
2022/9/2	2022/11/21	2022/10/2	2022/12/21	2022/11/2	2023/1/21	2022/12/2	2023/2/20	2023/1/2	2023/3/23	2023/2/2	2023/4/23	2022/3/2	2022/5/21
2022/9/3	2022/11/22	2022/10/3	2022/12/22	2022/11/3	2023/1/22	2022/12/3	2023/2/21	2023/1/3	2023/3/24	2023/2/3	2023/4/24	2022/3/3	2022/5/22
2022/9/4	2022/11/23	2022/10/4	2022/12/23	2022/11/4	2023/1/23	2022/12/4	2023/2/22	2023/1/4	2023/3/25	2023/2/4	2023/4/25	2022/3/4	2022/5/23
2022/9/5	2022/11/24	2022/10/5	2022/12/24	2022/11/5	2023/1/24	2022/12/5	2023/2/23	2023/1/5	2023/3/26	2023/2/5	2023/4/26	2022/3/5	2022/5/24
2022/9/6	2022/11/25	2022/10/6	2022/12/25	2022/11/6	2023/1/25	2022/12/6	2023/2/24	2023/1/6	2023/3/27	2023/2/6	2023/4/27	2022/3/6	2022/5/25
2022/9/7	2022/11/26	2022/10/7	2022/12/26	2022/11/7	2023/1/26	2022/12/7	2023/2/25	2023/1/7	2023/3/28	2023/2/7	2023/4/28	2022/3/7	2022/5/26
2022/9/8	2022/11/27	2022/10/8	2022/12/27	2022/11/8	2023/1/27	2022/12/8	2023/2/26	2023/1/8	2023/3/29	2023/2/8	2023/4/29	2022/3/8	2022/5/27
2022/9/9	2022/11/28	2022/10/9	2022/12/28	2022/11/9	2023/1/28	2022/12/9	2023/2/27	2023/1/9	2023/3/30	2023/2/9	2023/4/30	2022/3/9	2022/5/28
2022/9/10	2022/11/29	2022/10/10	2022/12/29	2022/11/10	2023/1/29	2022/12/10	2023/2/28	2023/1/10	2023/3/31	2023/2/10	2023/5/1	2022/3/10	2022/5/29
2022/9/11	2022/11/30	2022/10/11	2022/12/30	2022/11/11	2023/1/30	2022/12/11	2023/3/1	2023/1/11	2023/4/1	2023/2/11	2023/5/2	2022/3/11	2022/5/30
2022/9/12	2022/12/1	2022/10/12	2022/12/31	2022/11/12	2023/1/31	2022/12/12	2023/3/2	2023/1/12	2023/4/2	2023/2/12	2023/5/3	2022/3/12	2022/5/31
2022/9/13	2022/12/2	2022/10/13	2023/1/1	2022/11/13	2023/2/1	2022/12/13	2023/3/3	2023/1/13	2023/4/3	2023/2/13	2023/5/4	2022/3/13	2022/6/1
2022/9/14	2022/12/3	2022/10/14	2023/1/2	2022/11/14	2023/2/2	2022/12/14	2023/3/4	2023/1/14	2023/4/4	2023/2/14	2023/5/5	2022/3/14	2022/6/2
2022/9/15	2022/12/4	2022/10/15	2023/1/3	2022/11/15	2023/2/3	2022/12/15	2023/3/5	2023/1/15	2023/4/5	2023/2/15	2023/5/6	2022/3/15	2022/6/3
2022/9/16	2022/12/5	2022/10/16	2023/1/4	2022/11/16	2023/2/4	2022/12/16	2023/3/6	2023/1/16	2023/4/6	2023/2/16	2023/5/7	2022/3/16	2022/6/4
2022/9/17	2022/12/6	2022/10/17	2023/1/5	2022/11/17	2023/2/5	2022/12/17	2023/3/7	2023/1/17	2023/4/7	2023/2/17	2023/5/8	2022/3/17	2022/6/5
2022/9/18	2022/12/7	2022/10/18	2023/1/6	2022/11/18	2023/2/6	2022/12/18	2023/3/8	2023/1/18	2023/4/8	2023/2/18	2023/5/9	2022/3/18	2022/6/6
2022/9/19	2022/12/8	2022/10/19	2023/1/7	2022/11/19	2023/2/7	2022/12/19	2023/3/9	2023/1/19	2023/4/9	2023/2/19	2023/5/10	2022/3/19	2022/6/7
2022/9/20	2022/12/9	2022/10/20	2023/1/8	2022/11/20	2023/2/8	2022/12/20	2023/3/10	2023/1/20	2023/4/10	2023/2/20	2023/5/11	2022/3/20	2022/6/8
2022/9/21	2022/12/10	2022/10/21	2023/1/9	2022/11/21	2023/2/9	2022/12/21	2023/3/11	2023/1/21	2023/4/11	2023/2/21	2023/5/12	2022/3/21	2022/6/9
2022/9/22	2022/12/11	2022/10/22	2023/1/10	2022/11/22	2023/2/10	2022/12/22	2023/3/12	2023/1/22	2023/4/12	2023/2/22	2023/5/13	2022/3/22	2022/6/10
2022/9/23	2022/12/12	2022/10/23	2023/1/11	2022/11/23	2023/2/11	2022/12/23	2023/3/13	2023/1/23	2023/4/13	2023/2/23	2023/5/14	2022/3/23	2022/6/11
2022/9/24	2022/12/13	2022/10/24	2023/1/12	2022/11/24	2023/2/12	2022/12/24	2023/3/14	2023/1/24	2023/4/14	2023/2/24	2023/5/15	2022/3/24	2022/6/12
2022/9/25	2022/12/14	2022/10/25	2023/1/13	2022/11/25	2023/2/13	2022/12/25	2023/3/15	2023/1/25	2023/4/15	2023/2/25	2023/5/16	2022/3/25	2022/6/13
2022/9/26	2022/12/15	2022/10/26	2023/1/14	2022/11/26	2023/2/14	2022/12/26	2023/3/16	2023/1/26	2023/4/16	2023/2/26	2023/5/17	2022/3/26	2022/6/14
2022/9/27	2022/12/16	2022/10/27	2023/1/15	2022/11/27	2023/2/15	2022/12/27	2023/3/17	2023/1/27	2023/4/17	2023/2/27	2023/5/18	2022/3/27	2022/6/15
2022/9/28	2022/12/17	2022/10/28	2023/1/16	2022/11/28	2023/2/16	2022/12/28	2023/3/18	2023/1/28	2023/4/18	2023/2/28	2023/5/19	2022/3/28	2022/6/16
2022/9/29	2022/12/18	2022/10/29	2023/1/17	2022/11/29	2023/2/17	2022/12/29	2023/3/19	2023/1/29	2023/4/19			2022/3/29	2022/6/17
2022/9/30	2022/12/19	2022/10/30	2023/1/18	2022/11/30	2023/2/18	2022/12/30	2023/3/20	2023/1/30	2023/4/20			2022/3/30	2022/6/18
		2022/10/31	2023/1/19			2022/12/31	2023/3/21	2023/1/31	2023/4/21			2022/3/31	2022/6/19